

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 281

政策体系	11	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 2. 児童福 - 1. 児童福 現年		
事業名	地域子育て支援事業				
細事業名	地域子育て支援事業				
評価表作成者				市民福祉部 子育て支援課	谷口 梯

## 1. 事業の概要

- ・子育て家庭を対象に親子の育ちを支援するための、子育てすこやかセンターでの各種教室や講座の開催
- ・保護者の病気、就労等の事情により、児童を児童養護施設に短期的に入所させて養育支援を図る
- ・育児疲れや子育てが困難な家庭にサポーターを派遣し、子どもの世話や家事援助を行う

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

地域や家庭の子育て力向上に加え、課題や困難を抱える家庭の養育支援を図るなど、多様なニーズに対応する。

### ②事業を実施する必要性

少子化、核家族化の中で、子育てに不安や孤立感を抱く保護者に対し、地域での子育て支援力の向上とあわせ、状況に応じた支援策を講じる必要がある。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	1,293	2,948	2,965	3,318	2,024	2,000	2,000
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	25	375	213	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	307	317	385	462	63	63
	国・府支出金	千円	803	979	1,726	2,060	460	460	460
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	490	1,662	922	873	1,102	1,477	1,477
職員等の従事人員		人/年	—	3.35	1.90	0.10			
人件費		千円	—	10,433	5,524	700			
事業費総額		千円	—	13,006	8,277	4,018			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

子育てすこやかセンター事業 1,486,650円  
 子育て短期支援事業（ショートステイ） 379,500円  
 子育てサポート派遣事業 1,452,001円

## 5. 事業結果の概要

子育てすこやかセンター事業  
 ママ講座、パパ講座、親子リトミック等の開催  
 巡回サロン（八木、日吉、美山）の開催  
 センター来所者数 延5,692人  
 ショートステイ事業利用者 2世帯3人  
 サポート派遣事業利用者 4世帯

## 6. 活動の詳細

<b>1 子育てすこやかセンター事業</b>		
開放サロンの開催 広場等事業の開催 センター（園部）を拠点に八木・日吉・美山に巡回 心理相談の開催	開設日 ・センター 月～金曜 日 ・八木 月曜日 ・日吉 水曜日 ・美山 金曜日	センター来所者数 延 5,692人
<b>2 子育て短期支援事業</b>		
申請、審査、決定、入所 事業委託（児童養護施設 青葉学園） 要保護児童対策地域協議会との連携	年間随時	2世帯3人入所
<b>3 子育てサポート派遣事業</b>		
申請、審査、決定、サポーター派遣 要保護児童対策地域協議会との連携	年間随時	4世帯利用

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

すこやかセンター事業としては、市内全域において子育て広場やサロン、パパ講座などとあわせて相談事業を実施し、子育て支援策の充実に取り組むことができた。  
また、保護者の病気等による養育が困難な児童を児童養護施設に短期入所させ、養育支援を行うとともに、サポーターを派遣し、養育・家事援助を行っている。件数としては多くないが、養育困難家庭の支援として必要である。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成22年度の所属長評価

地域で子育てを支援する施策の展開を協議し、児童虐待の予防、子育てに不安を抱く子育て世代への支援や地域全体で子育てを支援する取り組みを進めた。すこやかセンター事業としては、市内全域において子育て広場やサロン、パパ講座などとあわせて相談事業を実施し、子育て支援策の充実に取り組むことができた。  
今後は、少子化対策にもつながるよう、子育て支援策と併せて住宅、就労などの各施策との連携を進める必要がある。

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
地域で子育てを支援する施策の展開を協議した。
- ②当該事業のアピール事項  
児童虐待の予防、子育てに不安を抱く子育て世代への支援や地域全体で子育てを支援する進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
子育て支援と併せて住宅、就労などの各施策との連携を進める必要がある。